

2012年11月1日

各位

**DAIKYO** 大京グループ

## 大京グループ 首都直下型地震による震災に備えてメール配信システムを二重化 ～震度6弱以上の地震でクラウドシステムに切り替え～

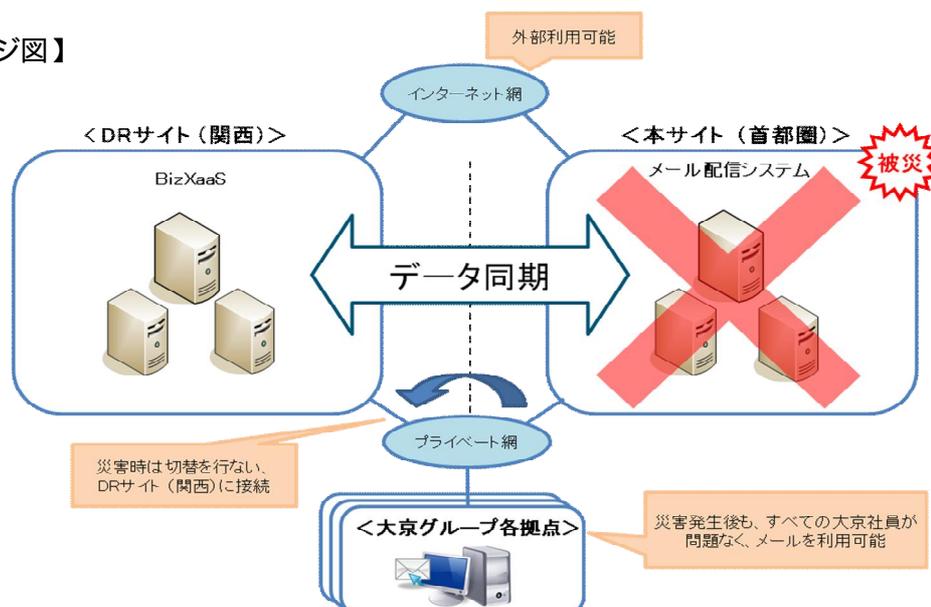
株式会社大京（本社：東京都渋谷区、社長：山口陽）を中心とする大京グループは、株式会社NTTデータ（本社：東京都江東区、社長：岩本敏男）が開発したクラウドサービス「BizXaaS（ビズエクサース）（注1）」を採用し、「メール配信システム」を首都圏と関西の二重化いたしましたので、お知らせいたします。

このシステムは、首都圏に震度6弱以上の地震が起きた場合、90分以内を目標に、「メール配信システム」を関西のクラウドシステムに切り替えることが可能となります。このことにより、全国のお客さまおよびグループ社員間のメールによる連絡が可能となり、事業継続の大きな一助となります。

東日本大震災以降、「想定外の災害」まで視野に入れた対策を実施することが企業の社会的責任になっています。大京グループにおいても、新築マンションや中古マンションをご契約されたお客さま、また、管理受託をいただいているマンション管理組合など、多くのお客さまとの繋がりがあり、その事業継続は社会的責任であると捉えています。2012年7月、大京グループでは、ディザスタリカバリ（以下「DR」）サイトとして、マンション管理組合の「組合会計システム」を関西に構築し、想定外の災害が起きても管理組合会計業務の継続を担保しました。

このたび、「メール配信システム」について、DRサイトを同じ関西に構築し、首都圏における災害時のお客さまからのお問い合わせなどに対するご照会・回答を可能とし、また、大京グループ社員間の連絡体制を整えることで、お客さまへの安心へ繋げていきます。

### 【イメージ図】



ディザスタリカバリ（disaster recovery）は、自然災害などによる致命的なシステム障害から、情報システムを復旧させること、あるいはそうした障害復旧に備えるための予備的措置や機能・運用体制のこと。

## DR サイト（クラウドシステムサービス）について

今回採用した DR サイトは、NTTデータのクラウドサービス「BizXaaS」を採用しております。採用理由として、本サービスは、耐震安全性の高い関西のデータセンターで動作する事、大京グループ既存システムとの連携が可能である事、また、メール配信システムに付随するサービス（ウィルスチェックサービス、モバイルアクセスサービス）や、災害時における大京グループ内からのインターネットへの外部接続も合わせて確保できることなどが挙げられます。

### 【(注1) BizXaaS (ビズエクサース)】

「BizXaaS」はNTTデータのトータルクラウドサービスです。エンタープライズ向けにシステム基盤をクラウドサービスとして提供する「BizXaaS プラットフォームサービス」他、幅広いアプリケーションサービスを取りそろえ、高信頼で安心のクラウド環境の実現をお手伝いします。

<http://www.ps.nttdcloud.jp/>

\* 「BizXaaS」は株式会社NTTデータの登録商標です。

\* その他の商品名、会社名、団体名は、各社の商標または登録商標です。

## 会社概要

### < 株式会社大京 >

- ・ 本 社：東京都渋谷区千駄ヶ谷 4 丁目 24 番 13 号
- ・ 代 表 者：代表執行役社長 山口 陽
- ・ 設 立：1964 年 12 月
- ・ 資 本 金：411 億 7,153 万円（2012 年 3 月 31 日現在）

### < 株式会社NTTデータ >

- ・ 本 社：東京都江東区豊洲 3-3-3
- ・ 代 表 者：代表取締役社長 岩本 敏男
- ・ 設 立：1988 年 5 月
- ・ 資 本 金：1,425 億 20 百万円（2012 年 3 月 31 日現在）

以 上

### このニュースリリースに関するお問い合わせ先

報道関係のお問い合わせ先

株式会社大京 広報室（飯田、河守） : 03-3475-3802

製品・サービスに関するお問い合わせ先

株式会社NTTデータ ビジネスソリューション事業本部

クラウドコンピューティングビジネスユニット 高橋(誠)、平嶋 : 050-5546-8337